

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
鍼灸科											
薬理学											
対象	3 年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	本多秀雄			実務 経験	有	職種	薬学博士・医学博士				
授業概要											
基本的な薬と人体の関係を学ぶ。現在の医療現場では、薬剤の知識は必須である。鍼灸施術を受ける患者も何らかの薬剤を使用している場合が多く、薬剤の性質を知ること、副作用の状態や相乗効果を期待するための知識を学ぶ。											
到達目標											
薬理学は「薬の人体における作用と動態を研究し、合理的薬物治療を確立するための科学」と規定されている。本授業では、薬理学の専門領域である新薬候補物質の有効性と安全性を評価する方法、医薬品として認可された後も、多数の使用例を検討しつつ、適正な薬物治療を確立してゆくために必要な基本的知識、さらに治療対象となる患者（年齢、性別、生理的状态等）側に立った薬物動態の知識、薬の作用と薬効についても概説する。											
授業方法											
「薬」の基礎的な概念や薬効を学ぶとともに、身体内でどのような過程を経て効果を発現するかを学ぶ。さらに良く使われる薬剤を紹介し、どのような薬効を示すかを学ぶ。また、呼吸器、消化器、神経に作用する薬剤を学ぶことを目的とする。											
成績評価方法											
期末試験。											
履修上の注意											
授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。											
教科書教材											
大鹿英世・吉岡充弘・井関健著：系統看護学講座専門基礎分野、薬理学、疾病のなりたちと回復の促進[3]、医学書院、2018											
回数	授業計画										
第 1 回	総論 1										
第 2 回	総論 2										
第 3 回	抗感染症薬 1										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
鍼灸科	
薬理学	
第4回	抗感染症薬2
第5回	抗ガン薬1
第6回	抗ガン薬2
第7回	呼吸器に作用する薬物
第8回	消化器・生殖器に作用する薬物
第9回	末梢神経作用薬1
第10回	末梢神経作用薬2
第11回	末梢神経作用薬3
第12回	末梢神経作用薬4
第13回	末梢神経作用薬5
第14回	人体に及ぼす総合的薬理作用
第15回	総合講義